

# 2013年度北海学園大学大学院経営学研究科修士課程(第1期)入学試験

## 専門科目 (共通専門科目) <組織経営分野>

組織のコンティンジェンシー理論について、以下の問いに答えよ。

1. Burns and Stalker(1961)、Woodward(1965)、Lawrence and Lorsch (1967)のいずれかの研究を取り上げ、初期のコンティンジェンシー理論の特徴について論述せよ。
2. ネオ (ポスト)・コンティンジェンシー理論と呼ばれる議論の特徴を、特に初期のコンティンジェンシー理論との違いから論述せよ。
3. コンティンジェンシー理論全体を俯瞰して、これらの議論の理論的な貢献と限界について論述せよ。

# 2013年度北海学園大学大学院経営学研究科修士課程(第1期)入学試験

## 専門科目(指導希望教授担当科目) <経営組織論>

以下の問題から2題を選び詳細に説明してください。

1. 権限・権威の説明には諸説がありますが、法定説、受容説を説明してください。
2. 組織成立の三要素が維持されるにはどのようにすればよいか説明してください。
3. 日本的(型)経営で三種の神器と呼ばれるものがあります。これらを説明してください。
4. 「職務再設計」とはどんなもので、なぜ必要になったかを説明してください。
5. PPM と PLC について説明してください。
6. アンゾフの成長戦略(製品-市場マトリクス)について説明してください。
7. 「限定合理性」とはどのようなものか、なぜそれが生じるのかを説明してください。
8. カンパニー制組織とはどのようなものか、またその利点と難点を説明してください。